つ　む　ぐ

校長室より

令和５年９月

２学期が始まりましたが、こんなにも秋が来るのが待ち遠しい年はないくらいの暑さです。小学部や中学部は運動会の練習が始まりました。熱中症や感染症に気をつけながらの学習を行っています。

そんな中でも、子どもたちは、学校生活のリズムをすぐに取り戻し、挨拶が上手になったり、自分の考えを伝えたりすることができるようになったりと、成長を感じる場面が多くなりました。

今学期は校外学習や防災に関する学習などが予定されています。学習を通して、「何を学んだか」、「何が身についたか」の振り返りを行い、日常生活の中で活用できる力となるよう取り組んでいきたいと思います。今回は、９月に行った学習の様子を紹介します。

＜防災に関する学習＞

起震車体験　　**９月７日（木）**

地震の揺れを擬似体験することで、地震災害に対する意識を高め、万が一に備えることの大切さを知ることを目的に行いました。防災委員会に所属している保護者の方にも体験していただきました。これまで映像などで見てきた地震の様子を実際に体験することで、身近なこととしてとらえる機会となりました。

起震車

揺れを体験

防災に関する校外学習　　**９月 15 日（金）**　　**高等部普通科１年生**

いつ起きるかわからない自然災害に対して、自分の命は自分で守る行動をとることができるよう、栃木県防災館の見学に行きました。大雨、大風、煙、地震の疑似体験ができる施設です。大雨体験ではあまりの雨量の多さに驚いている様子が見られました。様々な災害の疑似体験から、災害にどのような備えが必要なのかを考えることができました。

大雨を体験

大風を体験

＜中学部の進路週間＞

中学部では、９月 11 日（月）から９月 15 日（金）の５日間を進路週間とし、働くことや作り上げることの喜びを体験し、高等部の作業学習に向けての準備や心構えを身に付けるため、作業学習と進路学習を行いました。

作業学習では、３つの作業班に分かれて活動し、手工芸班では、ランチョンマットなど刺し子作品の制作、ストラップなどのビーズ作品の制作、木工班では、スマホスタンドや台車などの木工作品の制作、農園芸班では、畑の手入れ、除草、水やり、寄せ植えや染め物などの作品制作を行いました。身だしなみを整え、挨拶や返事を大きな声で行ったり、集中して丁寧に作業に取り組んでいました。

ビーズ作品の制作

刺し子作品の制作

進路学習では、学年毎に校外学習を行いました。

１年生は、働くことや仕事に対して興味をもつことができるようアルテミラ製缶（株）と山新（結城店）を見学させていただきました。工場やお店など、いろいろな働く場があることに気づくことができました。

２年生は、働くために必要な身だしなみや言葉遣いを学ぶことができるようにカスミ結城店、ウエルシア下り松店を見学させていただきました。「お店の人の言葉の丁寧さにびっくりしました。」「旬のものが売っていました。」等の気づきがありました。

３年生は、高等部卒業後の進路先について知り、将来の目標を考えることができるよう日中活動系サービスの福祉施設の、紬の家あおやま（就労継続支援 B）、サポートセンターゆうき（就労移行支援・就労継続支援 B）、ハッピーライフ結城駅前（就労継続支援 A）を見学させていただきました。また、作業の一部を体験させていただき、「実際にやってみて、思ったよりも難しかった。」という感想がありました。

結城市内の事業所や福祉施設のご協力いただき、実際に見たり、聞いたり、体験したことで、将来の進路について考える貴重な機会となりました。